

広報 

いずも

第18号

平成17年(2005)12月8日発行



宍道湖がラムサール条約に登録

11月8日～15日に開催されたラムサール条約()締約国会議で、宍道湖・中海が登録され、宍道湖が「世界的に重要な湖」であることが認められました。中国地方では、秋吉台地下水系(山口県)とともに初めての登録地となります。これで、日本の登録地は33か所になりました。

身近な宍道湖が世界的に評価されたことを期に、水鳥だけでなく、魚介類を始めとする湿地からの恩恵を受けつつ、豊かな自然を後世に伝えていく方法を考えてみましょう。

ラムサール条約とは

正式名称は『特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約』。イランのラムサールで、この条約が採択されました。

写真提供：(財)ホシザキグリーン財団

目次

4月から変わる介護保険制度 2～3

国内交流都市 8

お知らせコーナー 10～11